

2017年7月31日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「ゴールド・ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」を設定

～ 三井住友信託銀行が7月31日取り扱い開始 ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は本日、実質的に金に投資を行なう追加型投信「ゴールド・ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」を設定し、運用を開始しました。三井住友信託銀行株式会社が本日から取り扱いを開始します。

「ゴールド・ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」は、実質的に金に投資を行ない、信託財産の成長をめざすファンドです。主に「ゴールド・マザーファンド」に投資を行なうファミリーファンド方式で運用を行ない、「ゴールド・マザーファンド」は、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、金地金(きんじがね)価格への連動をめざす上場投資信託証券に投資を行ないます*1。為替変動リスクの軽減を図る「為替ヘッジあり」と、為替変動の影響を直接受けることで円安時に為替差益が期待できる「為替ヘッジなし」の2つのコースがあり、投資家のみなさまの運用ニーズに応じてお選びいただけます*2。

金への投資には、主に、①リスク回避局面に強い、②株式などの主要資産と異なる価格変動、③実物資産としての強み——などといった魅力があると考えられます。

リスク回避局面に強い

金は、「有事の金」とも言われ、金融危機や地政学リスクが高まる局面などでは、資金の逃避先として買われる傾向にあります。

株式などの主要資産と異なる価格変動

金は、他の主要資産と異なる価格特性を持つため、他資産との価格の相関が低くなっています。そのため、分散投資を行なう際に有効な資産の1つとされています。

実物資産としての強み

金は希少価値が高く、金自体に価値がある実物資産であるため、「価値がゼロにならない資産」「インフレに強い資産」とされており、宝飾品や投資、代替通貨など様々な用途での需要が高い資産です。

※上記は金についての一般論であり、実際とは異なる場合があります。また当ファンドの「投資リスク」については、後述をご参照ください。

「ゴールド・ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」は、「地政学リスクなど有事に備えたい」「すでに株式などの主要資産を保有しているため、資産分散効果を高めたい」といった、さまざまな投資ニーズに対するソリューションのひとつとして広くご活用いただけます。また、投資信託という投資形態であるため、保管・管理が相対的に容易であるほか、NISA(少額投資非課税制度)をご利用いただくことも可能です。

日興アセットは今後も、投資環境の変化を迅速に捉えた質の高い商品の開発と優れた運用パフォーマンスのご提供に努めてまいります。

以上

*1 ただし、当ファンドは、ファンドの状況や投資環境により、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている、金地金価格への連動をめざす投資信託証券に直接投資する場合があります。当ファンドは、金地金へ直接投資することはありません。

*2 販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

■手数料等の概要

お客さまには以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料： 三井住友信託銀行における購入時手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようによります。
 1,000万円未満……………1.08%(税抜1.00%)
 1,000万円以上5,000万円未満…0.81%(税抜0.75%)
 5,000万円以上……………0.54%(税抜0.50%)
 ※分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料： ありません。
- 信託財産留保額： ありません。
- スイッチング手数料： ありません。
 ※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 信託報酬： 純資産総額に対して年率0.3996%(税抜0.37%)以内を乗じて得た額
 ※この他に、投資対象とする上場投資信託証券には運用などに係る費用がかかりますが、投資する上場投資信託証券の銘柄は固定されていないため、事前に料率、上限額などを表示することができません。
 - その他費用： 目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.54(税抜0.5)を乗じて得た額)などについては、その都度、信託財産から支払われます。
 ※組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
- ※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者のみなさまがファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。
- ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■リスク情報

投資者のみなさまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)のみなさまに帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に金上場投信を実質的な投資対象としますので、金上場投信の価格の下落や、金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【有価証券の貸付などにおけるリスク】

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者のみなさまに「ゴールド・ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した資料です。
- 当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客さまご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

55年を超える実績を誇り、30以上の国・地域から集まる人材を世界9カ国・地域に擁して、200名超の運用プロフェッショナルが約20.3兆円の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計300社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2017年3月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会